

KYOTO FDC NEWSLETTER



第2回FDセミナーを開催しました ～232名が参加～



▲杉原 真晃氏「大学間連携を活かしたFD
一義と愛のある協働的大学づくりを目指して」

川田氏からは山形大学職員による山形県内の市町村と協同したプロジェクトの他、『あっとおどろく大学事務改善』冊子の刊行、SD合宿研修などの取り組みが報告されました。

注目の『あっとおどろく大学授業NG集』と『あっとおどろく大学事務NG集』の上映を交え、ビデオ制作の意図やマスコミ等からの反響も報告されました。

最後に本センターの深野専門研究員より「教職協働で進めるFD/S D」の報告が行われました。



▲深野 政之氏

2009年12月13日(日)、大谷大学講堂を会場に第2回FDセミナーを開催しました。「大学間連携を活かしたFD・SD～より実質的な改善・開発を目指して～」をテーマに、山形大学高等教育研究企画センターより杉原真晃准教授と川田正之氏を招いて、山形大学を中心としたFDネットワーク“つばさ”の活動についてご講演いただきました。

杉原氏からは大学間連携によるFDとして、授業改善アンケートの共同実施、公開授業と検討会、FD合宿セミナーやFD合同研修会に加え、学生FD会議(学生モニター制度)を開催し多くの学生が積極的に発言していることなどが報告されました。



▲川田 正之氏「大学間連携を活かしたSD
一大学の垣根を越えた職員の相互研鑽を目指して」

★ビデオに関する質問等は、
山形大学高等教育研究企画センターへお問い合わせ下さい。

☆『あっとおどろく大学授業NG集』
<http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/kyouiku/video.htm>

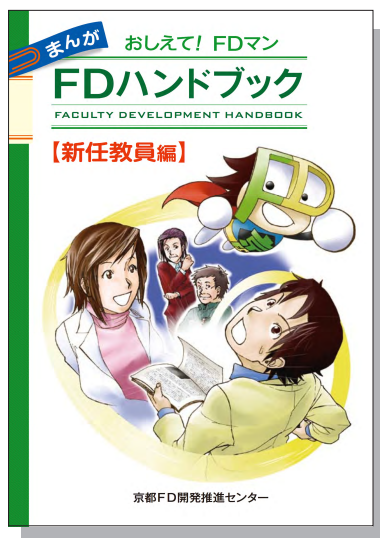
☆『あっとおどろく大学事務NG集』
http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/tsubasa/jimu_ng/



『まんがFDハンドブック おしえて！FDマン』を刊行

FD 研修プログラム WG では、主に新任教員を対象にした研修プログラムの開発を進めています。その一環として F D ハンドブックを作成し、連携大学の全教員に配布する運びとなりました。連携大学の一つである京都精華大学の事業推進室の協力を得て、読みやすく、わかりやすく、使ってもらえるマンガ版の授業ティップス集となりました。

ハンドブックには若干の残部がありますので、ご希望の方は本センター（4 面下参照）まで、お問い合わせください（無料）。



▲FDマン

第1章 授業運営の工夫

- Q1 最初の授業で、何を話せばよいでしょうか？
- Q2 毎回の授業導入部では、何から始めたらよいでしょうか？
- Q3 授業の終わりに次の授業につなげる工夫はありますか？
- Q4 90 分の時間配分はどうしたらよいでしょうか？
- Q5 90 分間授業に集中させるには、どのような工夫が必要ですか？
- Q6 レポート課題を出したいのですが、どのような課題にすればよいでしょうか？
- Q7 レポート課題を出したいのですが、分量や提出期限の設定にどのような配慮が必要ですか？
- Q8 授業開始時に学生を集中させたいのですが、どうしたらよいでしょうか？
- Q9 学生が発言しやすい雰囲気を作りたいのですが、そんな方法がありますか？

第2章 さまざまな授業形態

- Q10 パフォーマンスとして授業を捉えるとは、どういうことですか？
- Q11 授業にディスカッションを取り入れたいのですが、どのような準備が必要ですか？
- Q12 学生にグループで学習させるには、どのような準備と計画が必要ですか？
- Q13 学生に自習課題を与えて、その成果を授業中に発表させたいのですが、どのような注意が必要ですか？
- Q14 予習や復習を前提とした授業をしたいのですが、どのような方法が効果的でしょうか？

第3章 教材・教具の活用

- Q15 特定の教科書を指定したほうがよいですか？
- Q16 授業の中で教科書はどう使うのですか？
- Q17 参考書はどう使ったらよいですか？
- Q18 プリントを作るときに注意点を教えてください。
- Q19 学生から板書してほしいと言われます。何をどのように書いたらよいのでしょうか？
- Q20 学生から板書が読みにくいと言われます。どうしたらよいのでしょうか？
- Q21 ミニッツ・ペーパーって何ですか？
- Q22 本の一部をコピーして授業中に配布したいのですが、著作権法に触れないのでしょうか？
- Q23 授業中にテレビドラマの録画ビデオを見せたいのですが、著作権は大丈夫でしょうか？

第4章 こんな時、どうしたら…

- Q24 T A には何を任せればよいでしょうか？
- Q25 T A にはどのように接すればよいのでしょうか？任せてはいけないことはありますか？
- Q26 私語に悩まされています。どのように注意したらよいのでしょうか？
- Q27 毎週、授業の遅刻者への対応に時間を取られます。何かよい方法はありますか？
- Q28 授業に出てこなくなった学生に対処したいのですが、どのようにしたらよいのでしょうか？
- Q29 障がいのある学生に対して、どのように接すればよいのでしょうか？
- Q30 留学生に対して、どのように接すればよいのでしょうか？



夏季海外視察報告書を作成しました

2009 年 8 月にヨーロッパ（ベルギー、スウェーデン）とオーストラリアの 2 コースを企画し、連携大学教職員 17 名を FD 海外視察・研修に派遣しました。

このたび、その視察・研修の内容をまとめた海外視察報告書を作成しました。

入手ご希望の方は、本センター（4 面下参照）まで、お問い合わせください（無料）。

（訪問・調査先）



ベルギー



スウェーデン



オーストラリア

- ・欧州大学協会（EUA）
- ・VINNOVA
- ・ストックホルム大学
- ・王立工科大学（KTH）
- ・KONSTFACK（国立芸術工芸デザイン大学）

- ・ウェスタン・シドニー大学
- ・シドニー大学
- ・メルボルン大学高等教育研究センター



WG活動状況報告

1. FDer 養成WG

- 第3回京都 FDer 塾（2月20日）企画
- FDフォーラム・ミニシンポジウム（3月7日）企画
- 京都執行部塾（仮）（6月予定）

2. FD研修プログラム検討WG

- まんがFDハンドブック作成（2月発行）
- 新任教員合同研修（3月13日・14日）企画

3. FDシステム検討WG

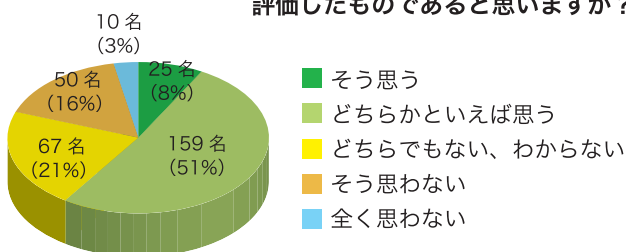
- クリッカー授業実践（佛教大学、大谷大学、京都橘大学）
- 連携大学授業評価担当者意識調査
- 連携大学全教員意識調査（回答数：313名）

連携大学全教員を対象に、「学生による授業評価アンケートに関する意識調査」を実施しました。

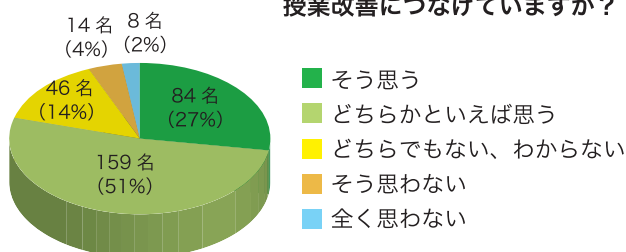
FDシステム検討WGでは、連携18大学の全教員を対象にWEBアンケートを実施しました。回答者数は313名で、回収率は約14%でした。回答結果の分析を進め、今後のWEBアンケート、FD連携活動に活用していきます。



(1) アンケート結果は、受講生が授業を適切に評価したものであると思いますか？



(2) アンケート結果を参考にして、授業改善につなげていますか？



講演会・学習会報告

1. 夏季海外視察報告会

10月16日（金）キャンパスプラザ京都において、8月に実施した連携大学教職員による夏季海外視察について、龍谷大学・林久夫教授（ベルギー・スウェーデン）と京都学園大学・行廣隆次准教授（オーストラリア）よりご報告をいただきました。報告後には、ボローニャ・プロセスのフォローアップや学位制度等、メルボルン大学内の評価制度、表彰制度について、活発な質疑が行われました。



▲林 久夫氏



▲行廣 隆次氏



2. 事例報告会「大学での学びをトータルサポートするICTシステムの活用」

12月10日（木）キャンパスプラザ京都において、京都光華女子大学・酒井浩二准教授より、「光華ナビ」のクラスマネジメントシステムや、1～3年生ゼミで実践しているeポートフォリオ等について、酒井先生ご自身の授業での活用方法や、それに対する学生の反応などについて、具体的な実例や実際の画面を交え、紹介していただきました。



▲酒井 浩二氏



第3回京都FDer塾 テーマ：授業コンサルティング

四国地域のFD連携事業SPODのワークショップ型研修により、実践的な授業コンサルティングの手法を体験します。

日 時：2010年2月20日（土）13：00～17：45
場 所：キャンパスプラザ京都 2階 ホール
講 師：曾田 紘二氏（徳島大学 大学開放実践センター長）
香川 順子氏（徳島大学・准教授）ほか

対 象：京都地域FD連携PJ参加大学・短期大学、機関の教職員
参加費：無料
主 催：FDer 養成WG

参加申込：e-mail で、お名前、所属大学、教員・職員の別、e-mail アドレスを記載の上、center@kyo-fd.jp へ送信して下さい。

新任教員合同研修

ワークショップを交えた実践的なプログラムです。多くの京都地域の大学教職員と交流する機会として、ぜひご参加ください。

日 時：2010年3月13日（土）13：00～17：30
3月14日（日）9：30～17：00
※両日参加の方には修了証を発行します。
場 所：キャンパスプラザ京都

参加対象：京都地域FD連携PJ参加大学・短期大学に赴任して
数年以内の教員（対象の範囲は各大学にお任せします）
参加費：無料（ただし情報交換会費は別途負担）
※詳しくは下記本センターまでお問い合わせ願います。

研修 内容

1. 京都の大学、大学のまち京都・・・井上 真琴氏（大学コンソーシアム京都 副事務局長）
2. 授業デザインのための基礎知識・・・沖 裕貴氏（立命館大学 教授）
3. ベストティーチャー模擬授業・・・梅本 裕氏（京都橘大学 理事長・教授）、藤原 学氏（龍谷大学 教授）
4. 成績評価の基礎知識・・・圓月 勝博氏（同志社大学 教務部長・教授）

FD フォーラム：ミニシンポ企画

テーマ：FDを推進、支援する
トップマネジメントの役割

3月6日（土）・7日（日）に開催される大学コンソーシアム
京都主催第15回FDフォーラム（於：同志社大学）において、
本センターが2日目のミニ・シンポジウムを担当し、当日は
京都地域にある大学から3名の副学長に各大学のFD活動の
現状と、FD推進の具体例をご紹介いただき、トップマネジ
メントの役割について検討します。

日 時：3月7日（日）10：00～15：30
報 告 者：河野 勝彦氏（京都産業大学／副学長）
清水 稔氏（佛教大学／副学長）
久保 哲男氏（京都外国語大学・京都外国語短期大学／副学長）
指定討論者：池田 輝政氏（名城大学／副学長・理事）
コーディネーター：深野 政之（京都FD開発推進センター 専門研究員）

FDに関するご質問にお答えします

FDに関する基本的なご質問に回答するとともに、各大学等が抱える個別のご質問等を把握し、可能な限りその質問等にお答えできる
ようFDQAを開設しております。
このFDQAは、2007年度から「大学コンソーシアム京都」京都高等教育研究センターがweb 掲示板を開設し、試行的にご質問等
を受け付けてきたものを、2009年度より本センターが受け継いで運営しているものです。

講演会等の講師紹介、ワークショップ等のプログラムに関するご相談

連携大学・短期大学のFD活動を支援するため、FDに関するご相談を受け付けています。講演会、研修会、シンポジウムやワーク
ショップを企画する際に、そのテーマに詳しい講師の紹介、プログラムの相談等に応じます。

授業コンサルティング

連携大学・短期大学の授業に関わる個別相談に対応しています。先生方の授業の組み立てや授業運営上の
悩み等に応じるとともに、先生方の要望により教室の中に入ってカウンセリングをしたり、授業ビデオの
収録や受講学生への聞き取り、授業検討会等を行ったりすることによって、経験豊かな教員、専門家から
アドバイスを受けることができます。

いずれも下記連絡先にお問い合わせください。



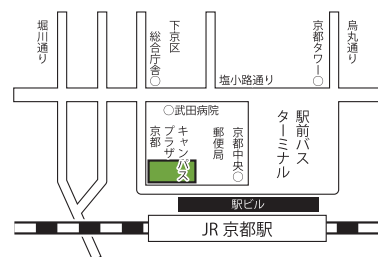
発行・連絡先：京都FD開発推進センター

〒600-8216

京都市下京区西洞院通塩小路下ル キャンパスプラザ京都5階

TEL：075-353-9122 FAX：075-353-9101 E-Mail：center@kyoto-fd.jp

<http://www.kyoto-fd.jp/>



※本センターが収集した個人情報は、本センターの行事運営と情報提供に目的を限定し、適切に管理します。